

附属学校園制服検討の経緯

附属小学校

○令和3年10月22日 王子キャンパス会議

・制服検討委員会等の設置について協議

制服検討委員会の構成・役割について協議

○四校園制服検討委員会

【委員長】連携統括長、【副委員長】事務長【副委員長】当番校校長

四校園長、四校園教頭、事務室長、四校園 PAT 会長・副会長1名(女性1、男性1ずつ計2名)

【事務局】事務室専門職員 【有識者】

- ① 制服制定の基本方針の策定
- ② 制服業者の最終決定
- ③ 制服の最終決定

○制服検討実務者会

専門職員(附属事務室)、四校園教頭

- ① 制服制作業者の選定(事務室専門職員)
- ② 制服制作にあたり業者への説明(事務室専門職員)
- ③ 制服納入契約等確認(事務室会計係長)
- ④ 業者からのコンペ(四校園校長、四校園教頭、事務室専門職員)
- ⑤ 業者の審査(四校園校長、四校園教頭、事務室専門職員)
- ⑥ 業者への通知(事務室専門職員)

○各校園の制服検討担当者

校長、教頭、担当教諭、PTA 会長と副会長(女性1、男性1ずつ計2名)

※児童・生徒代表(人数は各校園で男女のバランスを考慮)

- ① 園児、児童・生徒、職員、保護者アンケート、意向調査を実施する。
- ② アンケートをもとに制服の細部(素材、デザイン等)を検討する。
- ③ PTA、児童会、生徒会と連携し共通理解を図る。

(協議資料より抜粋)

○令和3年11月19日 王子キャンパス会議

・四校園制服改訂基本方針(案)について協議(1回目)

○目的、制服の種類、デザイン、機能等について協議

- ・附属四校園の制服に選択の視点を取り入れる。
- ・制服を着用することにより、園児、児童、生徒同士の連帯感を育む。
- ・附属学校園の制服に愛着を持つことにより、規律ある生活習慣を確立し、愛校心を育む。
- ・家庭の経済的負担の軽減を図る。 など

(検討事項から抜粋)

○令和3年12月7日 王子キャンパス会議

・四校園制服改訂基本方針(案)について協議(2回目)

○制服の着用について、変更内容について、検討事項について協議

- ・適正な価格であること
- ・型崩れしにくく、手入れがしやすく、家庭で洗濯できるものであること。
- ・動きやすいものであること。
- ・長期間(概ね3年間)の着用に耐える耐久性をもつものであること。
- ・改造(着崩し)しにくいものであること。

(検討事項から抜粋)

○令和4年1月11日「四校園制服研等委員会の実施について」を保護者宛発出

現在、附属四校園では、愛校心や帰属意識を高め、仲間との絆や連帯感を醸成するとともに、ご家庭への経済的な負担の軽減も考慮し、制服の着用を附属四校園の方針としておりますが、こうした状況を鑑み、今後の制服の在り方について幅広く検討を行っていきたいと考えております。

制服についての協議を行う中で、随時保護者の皆さまに経過をお知らせするとともに、PTA等を通じて保護者の皆さまやお子さんのご意見をお伺いさせていただきながら検討していきたいと思っておりますので、ご理解とご協力のほどよろしくお願いいたします。(抜粋)

原本：http://www.jhs.oita-u.ac.jp/pdf/seifuku_kentou_iinkai/040111.pdf

○令和4年2月4日 第1回四校園制服検討委員会

「大分大学教育学部附属学校園制服検討委員会要綱」の承認及び設置目的

急速な社会の変化に伴い、価値観や性のとらえ方が多様化する中、制服の在り方についても問われるようになっております。

また、文部科学省からは、「学校における通学用服の選定や見直しについては、最終的には校長の権限において適切に判断すべき事柄であるが、その選定や見直しを行う場合は、保護者等学校関係者からの意見を聴取した上で決定することが望ましい」との通知が出されています。

そこで、附属四校園では、愛校心や帰属意識を高め、仲間との絆や連帯感を醸成するとともに、ご家庭への経済的な負担の軽減も考慮し、制服の着用を附属四校園の方針としておりますが、こうした状況を鑑み、今後の制服の在り方について幅広く検討を行っていくため、「制服検討委員会」等を立ち上げる事となりました。(抜粋)

審議事項

○制服についての基本方針

- ・令和4年2月15日保護者宛文書参照

○今後の日程について

- ・附属中学校が令和5年4月導入に向けてスケジュール提案

○令和4年2月15日

「第1回四校園制服検討委員会の報告について」附属四校園保護者宛に発出

【四校園制服についての方針】

現行の制服には、子どもや保護者、同窓生からの愛着もあり、附属四校園としての伝統もある。また、制服を着ることにより附属四校園への所属意識や連帯感が高まり、誇りと目的意識を持ち、それぞれの学校園生活を送ることが出来る。従って制服の着用については、今後も必要。しかし、時代の変化や価値観、性に対する捉えの多様化に対応するためには、現行の制服の規定を見直していく必要がある。一方、四校園で制服を統一することは合理的ではない。現行の制服には、すでに色合いやデザインの中にある程度の統一性がある。

従って、多様性に配慮し、各校園の課題や実態に対応することを目的とし、多くの関係者から愛され伝統のある現行の制服も含めて、各校園それぞれで園児・児童・生徒や保護者と一緒に見直しを進めていく。基本方針としては、新規に四校園統一した制服を考えるのではなく、各校園の制服についての考えを尊重しつつ、四校園で統一する部分についても検討をすすめていく。

【各校園の制服についての方針】

○附幼: R1 に男女を分けない同一の制服を採用している。現状を維持していく。

○附小: 多様性に配慮し、抜本的に変えていく。特に6年間を通した半ズボンの着用は見直したい。

○附中: 多様性に対応するために、標準服として捉えていく。現行の制服をベースに見直したい。

○附特: 附小・附中に合わせていくが、キュロットの導入などは検討する。高等部は現状を維持していく。

(抜粋)

原本: http://www.jhs.oita-u.ac.jp/pdf/seifuku_kentou_iinkai/040215.pdf

○令和4年7月15日

附属小学校制服検討についての保護者アンケート実施

令和4年2月4日に第1回四校園制服検討委員会では制服の改訂について、時代の変化や価値観、性に対する捉えの多様化に対応しながら、各校園の実情に応じて決定していくこととしています。

つきましては、次の四校園の制服についての方針を踏まえ、制服の改訂について、下記の内容でアンケートを実施し、保護者の皆様のご意見をお伺いしたいと考えておりますのでご協力いただきますようお願いいたします。

【アンケートの内容】

設問1 附属小学校の制服について、改訂が必要と思いますか。

- ① 必要 ② 必要ない

設問2 設問1で「①必要」と回答された方に伺います。

必要と考える理由をお書きください。(可能な範囲で結構です)

設問3 その他、制服に関してご意見等があればお書きください。

(引用)

○令和4年8月3日 第2回四校園制服検討委員会

各校園の検討状況を報告

小学校から保護者アンケートの結果を報告。

保護者アンケート集約 回答率 70%

制服の改訂が必要 46.4%

制服の改訂が必要ない 53.9%

○多様性、ユニセックスを考慮したデザインや種類についての意見(39%)

○男子のズボンの長さ、女子のスカートについて検討の意見が多い。

○「必要ない」と回答したなかにも、多様性の観点や現在の制服について何らかの改定が必要と記述している方もいる。

保護者アンケートから

【多様性に関すること】

○女の子でもズボンをはきたい時があると子供が話す。

○男女の役割をそのまま反映したような二分の制服は見直しが必要だと思う。

○選択肢が増える事で、救われる子がいるのであれば良いと思います。

○多様性の求められる時代ですので、ジェンダーレス制服の導入は必要な事だと思います。

○現在、または今後、自身のアイデンティティに違和感や辛さを抱えるお子さんがいらっしゃる可能性を考えた時に、何らかの見直しが必要かもしれないと思うからです。

○今の時代、多様性もあり、女の子に限らず男の子でも短いズボンの肌の露出は避けた方が好ましいと思います。

○自分の子だけを考えれば、改訂の必要は無いです。ただ、もしジェンダーで制服にストレスを感じている子がいた場合、女の子の制服の選択肢にズボンを加えるというのが、現在のジャンパースカートでは難しい気がするのです。

○LGBTQ、ユニバーサルデザインに関しての学習としていくと思うが、制服が配慮されたものでないことが、教育内容との矛盾と捉える子どももいると思うため。

【男子のズボン・女子のスカート等に関すること】

○小学校男子のズボンは、半ズボンと長ズボンを選択できてよいのではないかなと思う。

○男の子の高学年の短パン成長によっては抵抗がある子もいると思われる。

○附小男児の半ズボンは見直しが必要かなと思います。スカートから下着が見えたりするのが気になるので、キュロットタイプのようなパンツがあれば良いなと感じます

○スカートから下着が見えたりするのが気になるので、キュロットタイプのようなパンツがあれば良いなと感じます。

○多様性の観点から、女子児童もキュロットや半ズボンの選択肢もあると良いと思います。

(性の多様性に関係する部分から抜粋)

第2回四校園制服検討委員会協議より

- ・アンケート結果を受け、校内制服検討会議を開催する。
- ・令和6年度に入学する児童から適用できるよう準備する。
- ・中学校では制服の検討に生徒が参加したが、小学校では高学年であっても、怖がらずに意見を出すことは難しいかもしれない。制服のデザインだけでなく、児童が受け止める姿勢をつくっていかなければならない。
- ・中学校では、最初に職員の研修を行い、性の多様性について授業で扱った。道徳や総合的な学習の時間に差別や偏見の目をなくすように、普段から心がけて指導している。
- ・自分の子どもを思い浮かべたとき、受け止める心を育てることは相当時間がかかるだろうと感じている。難しいから仕方ないと諦めるのではなく、家庭でも取り組んでいきたい。
- ・制服を変えることをきっかけとしてスクラップ&スリムや会の課題について考える必要がある。教員と子どもたちのみでなく、保護者も含めた研修機会も必要になってくるだろう。

(小学校に関係のあるところのみ抜粋)

○令和5年1月30日 附属小学校制服検討会議

1. 改訂の必要性

- ・アンケート結果 制服の改訂が必要 46.4%
- 制服の改訂が必要ない 53.9%

↓

困りを抱えている人がいるのであれば改訂が必要
LGBTQの観点から制服の検討を行うことは必要

↓

2. 検討の考え方

- 多様性・ジェンダーの面から検討が必要
- 成長による羞恥心への配慮、体調、季節・気温等から自分で考え選択できるもの
- 男女に関わらず、ズボンやスカートも自由に選択できる等、子どもに選択の幅を持たせたい。

3. 小学校の方向性

- ・今の制服を残すことは、四校園内で統一されている事項
- ・今の制服に長ズボンや、半ズボンなどを追加する。
- ・今の男女の制服の組み合わせを自由にする。

○令和5年2月27日 PTA総務委員会に、これまでの検討結果を報告

小学校の方向性

- ・今の制服は残す。(四校園統一)
- ・今の制服に長ズボンや、半ズボンなどを追加し、選択できるようにする。
- ・今の男女の制服の組み合わせを自由にし、多様性に配慮する。
- ・令和6年度に入学する児童から適応できるように準備する。

記録整理:校長